

ねえ、つながっちゃお!!

ゆにふあん活動事例集

第8回

自動車総連

ゆにふあんを活用した 支え合い・助け合い運動の発展

「ゆにふあん」を開設してまもなく2年。自動車総連では従来から取り組んできたさまざまな「支え合い・助け合い運動」をゆにふあんマップに掲載することで、組合員や支援先の理解が深まり、相互につながるきっかけになっているという。ゆにふあんを活用し、「支え合い・助け合い運動」はどのように前進したのか。自動車総連の宮澤典子組織局部長に聞いた。

動に取り組んでいます。

1つ目は自動車総連の強みを活かした「車両寄贈活動」。各労連が寄贈先を選定して毎年実施しており、1985年のスタートからの寄贈車両総数は約10000台です。

2つ目は地域の絆を活かした「物品寄贈活動」。全国47都道府県にある地方協議会が、地域の絆を強みとして困窮している小規模の福祉施設に毎年物品を寄贈しています。寄贈先は地方協議会の幹事会で話し合っており、販売店のお客様や組合員のご家族・知人といった地域のつながりで紹介してもらうことが多いです。予算は地方協議会ごとに上限額を決めて、施設からのリクエストにもとづいて物品を決定します。

これまで、車いすやパソコン・プリンター、洗濯機、冷蔵庫、テレビ、遊具、家具、物置、タブレット端末などを寄贈し、大変喜ばれています。3つ目は「ナイスハートふれあいの

スポーツ広場」。組合員がスポーツを通じて障がいのある方々とふれあい、「自立」と思いやりの心を育むことを目的に、公益財団法人国際障害者年記念ナイスハート基金と協賛して開催しています。各地方協議会が企画・運営を行い、組合員もボランティアで実行委員に入っています。昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で、47地方協議会すべて中止となりましたが、今年は、感染予防対策を徹底し、競技内容や運営方法も見直して、新たな「ナイスハートふれあいのスポーツ広場」を4月に鹿児島地方協議会で開催することができました。

労働組合は、組合員相互の理解と信頼で成り立っている組織です。互いに尊重し合いながら、弱いところは助け合い、支え合っているからこそ、公正で公平な労働運動を進めていく。そして、福祉社会の基盤も人間尊重と互助の精神に根ざした思いやりの心です。誰もが安心・安全で安

ゆにふあんマップの活用で 運動の広がりを

「組織内における「ゆにふあん」の取り組みは？」

2019年に「ゆにふあん」が開設されたことを受けて、自動車総連の中央執行委員会、12労連にその目的と内容を伝え、単組への周知を依頼しました。また、47地方協議会に対しては定例幹事会で本部担当役員より説明を行い、物品寄贈活動のマップへの掲載を依頼しました。その結果、2021年5月現在で99件の活動が掲載されています。掲載数と「いいね」数を中央執行委員会にて報告し、新しいツールとして「クラウド



宮澤典子
自動車総連 組織局部長

「自動車総連で取り組んでいる「支え合い・助け合い運動」とは？」

自動車総連は福祉活動として、福祉カンパ活動のほか、主に3つの活

ドファンディング」も紹介するなど、さらなる活用を促進しています。

具体的な掲載の手続きは、自動車総連本部が行います。労連や地方協議会では、活動報告の作成と寄贈先施設に「掲載の承諾」を得ること。

「ゆにふあんマップ」に掲載して良かったことは？」

ゆにふあんマップへの掲載のポイントは、寄贈先施設がどんな施設でどのような特徴的な取り組みをされているのか、できるだけ詳しく紹介していることです。プロジェクトが開かれたら、労連や地方協議会に対し、閲覧と「いいね」の依頼をメールにて連絡しております。

ゆにふあんマップへの掲載をきっかけに、福祉施設のスタッフや入所者・ご家族の方にも労働組合の活動を知ってもらえるようになり、地方協議会や労連のつながりが強まるという効果がありました。ゆにふあんマップには福祉施設の写真や紹介文も記載していますので、支援先にも喜んでいただいています。また、自動車総連としても、他産別が取り組む活動を知ることができて、良い気づきを得ています。

寄贈活動の資金は組合員からの福祉カンパ金です。組合員に対し、ゆにふあんマップを通じてカンパ金の用途を明確に伝えることができ、かつ、自動車総連の取り組みを広く伝えるツールにもなっていてありがたいと思います。

「今後、「支え合い・助け合い運動」をどう広げ、「ゆにふあん」をどう活用していきたい？」

昨年は「コロナ禍で在宅勤務になり福祉カンパの活動が難しい」という声が多数寄せられました。労連・単組のみなさんが大変苦労した中、取り組んでいただいたおかげで、目標金額を達成できました。電子カンパというアイデアも出ていますが、対面の人ひとりの組合員に声をかける活動を大切にしたいという思いもあり、大きな課題であると認識しております。

ゆにふあんの活用としては、自動車総連が推薦組織になり、単組や労連も実施団体として直接マップに掲載できると聞いたので、独自の活動をサポートしていくことも考えていきたいです。また、ゆにふあんマップは、現在は国内の支援活動に限定されていますが、これから海外への支援活動なども掲載できるようにしたいと思っています。

「読者にメッセージを。」

コロナ禍で、多くの働く仲間や家族が困難に直面しています。全国の福祉施設の入所者も大変な思いをされています。自動車総連は結成以来、リーマンショック、東日本大震災

や熊本地震の時も、福祉活動を中断することなく支援を継続してきました。いかなる有事においても支援を止めることなく継続することが大切であり、今後も取り組んでいきたいと考えております。「支え合い・助け合い運動」は、規模を広げるだけでなく、切れ目なく継続していくことが大きな力になります。「ゆにふあん」を通じて全国の仲間が福祉活動に関心を持ち、社会貢献活動が広がっていくことを願っています。

「ありがとうございました。」



車両寄贈活動



物品寄贈活動



ナイスハートふれあいのスポーツ広場(鹿児島大会)

『ゆにふあんフォーラム』オンライン開催

ゆにふあんの2年間を振り返るほか、今後の「支え合い・助け合い運動」の指針とすべく、『ゆにふあんフォーラム』をオンラインで開催します。ゆにふあんマップ掲載中の事例紹介のほか、「潜在的な社会貢献意識を行動・参画につなげる」ことをテーマにしたパネルディスカッション『想いをカタチにするために』など、社会貢献活動の知見を広げ・深める内容です!

9月3日(金)よりゆにふあんマップにて公開

